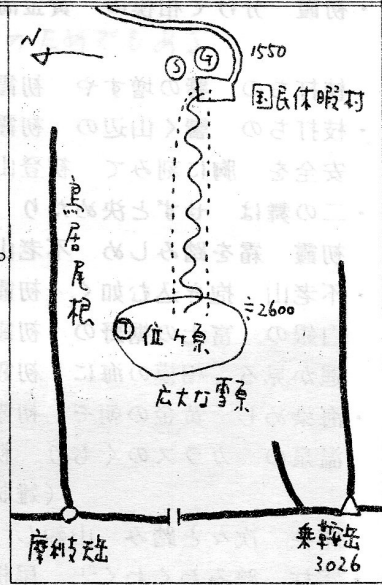


山行報告書

通算山行NO	NO・94	報告者	飯塚周一
年月日	'97年 1月18日(土曜日)～	年 1月19日(日曜日)	
山行名	レイホー雪祭り		
山名	乗鞍岳(3,026m・位ヶ原まで)		
コースタイム	本隊裾野13:00 →乗鞍高原国民休暇村駐車場 後隊裾野→15:00 出発起床3:00 撤収 4:15 出発→ 5:00 ⇨リフト 最終地点 先隊6:00 後隊 7:00 ⇨2,500m地点 (晴) 9:30位ヶ原10:30 国民休暇村駐車場12:00(スキー隊) 12:50(輪か隊) 13:10 帰途		
標高差	△S 1,550 ~T 2,600 ⇨ 1,050m	体力度	1・2・3・4・⑤・6
	▼T 2,600 ~G 1,550 ⇨ 1,050m	技術度	1・2・3・④・5・6
走行距離	下土狩 ~国民休暇村駐車場⇨ 250km	展望度	1・2・3・4・5・⑥
参加者役割	CL 後藤 隆徳 : 49	エキサイティングな山だった。	
	佐野 雅道 : 65	昨年より調子が良かった。	
	記録 飯塚 周一 : 55	河口さん懲りずに又行きましょう。	
	会計 来生 博子 : 48	輪カンは有難いと思った。	
	医療 加藤 秀子 : 48	スキー板の裏が団子になってしまい滑ることが出来ず苦労した。	
	SL 大根田元男 : 60	天候に恵まれ最高の雪山登山が出来た。	
	望月 明美 : 53	憧れの山、穂高をみて感激。	
	河口千代子 : 57	やっぱり来てよかった。	会員 8名・一般 名・全体 8名
第1日目	<p>雪のちらつく国民休暇村駐車場テントサイトへ2次隊として望月と18:50着。テントの中は暖かくキムチ鍋は既に出来上がっており食べるばかり。熱燗で乾杯!早速キムチ鍋を御馳走になる。うまい!!(この美味さになるまで紆余曲折があったようですが)加藤のHAPPY BIRTHDAY でカンパイ!明日に備え20:30就寝。</p>		
第2日目	<p>起床。加藤手際よく雑炊を作る。全員体調は良い様で皆、お替わりをし綺麗に雑炊を平らげる。テント撤収。完全装備で出発。暗いゲレンデをヘッドランプの光を頭にスキー隊を先頭に歩く。夜を徹してのゲレンデ整備の車が動き回っている。お蔭で雪面は締まってアイゼンがよく効く。</p> <p>途中で河口のアイゼンが不調となる。調整の為、2隊に分かれる。ようやくアイゼンを調整し先隊に1時間遅れて、リフト最終地点に着く。アイゼンの調整等は家を出る前に済ましておかないと、雪中での調整は寒さで手がかじかむのと、アイゼンに雪や氷がついてやりにくい。又、大根田がランチを準備していたので事なきを得た。ゲレンデの出来事だ</p>		



から、さして問題にならなかったが激しい所でのアイゼントラブルは命取りになる可能性もあるので用具の準備・点検、体力の準備は十分に自己責任で行なうべきと反省する。

いよいよゲレンデを離れ雪山登山。スキー隊、輪かん隊とで山スキーコースに添って登る。今日はレイホー隊がトップある。私達の前には新しい雪面が広がる。膝までのラッセル望月が頑張る。以後、交替で先頭を努める。ワンピッチ登った所でテキストを出し、CLより雪崩の説明を聞く。ツーピッチ半で雪訓に手頃な斜面に出る。高度は2,500m、雪面を掘り弱層テストをする。弱層はあったがすぐ雪崩る程の弱層ではない。

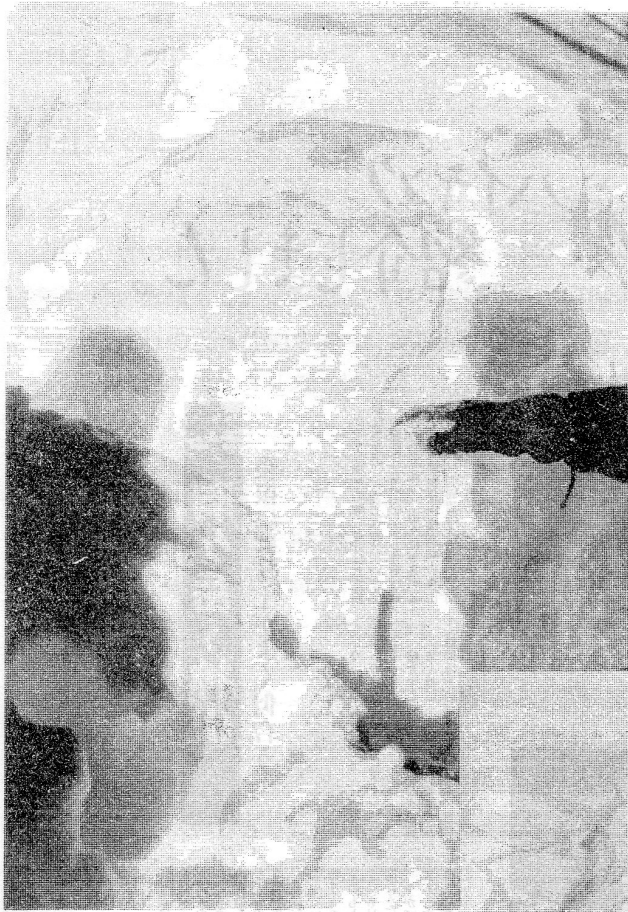
昼食をとり肩の小屋を目指す。10:30 位ヶ原に着く。天気はPカン。穂高連峰が眼前に迫る南も良く見える。感激を分け合い今日は此処までとする。CL『エキサイティングな登山』輪カンでのラッセルは疲れた。山スキー隊は恰好がいいシュプールを描いて下る。輪カン隊は一直線に棒下り。尻セードーで雪塗れも楽しい登山でした。

【 備えよ。常に！ 】

- | | |
|----------------------------|---|
| そ
の
他
の
記
述 | <ol style="list-style-type: none">1. 本隊は17:00 着。強風の中、駐車場にエスペース(大)(小)を張る。2. 例によって(オ)(キ)(カ)はタダの温泉を楽しんだ。おかげで一晩中林林だった。3. 夜中、暴走族だか除雪車だか、一晩中上ったり下ったりうるさかった。4. 一晩中風が強く、風下のテントの方はえらかったようだ。5. 休暇村のホテルの玄関は閉まっているが、左裏の従業員用のドアは開いている。6. 帰路、入浴した『湯けむり館』は洗い場、露天が広くなった。 |
|----------------------------|---|

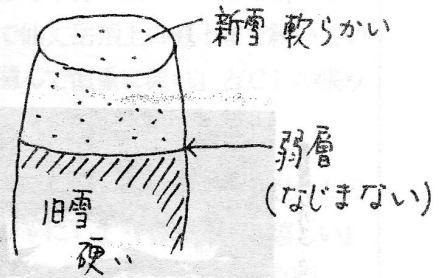


←
ラッセルは無上の喜びでもある

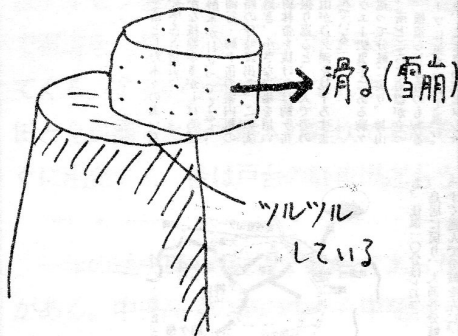


積雪の弱層テスト

位ヶ原手前の積雪で弱層テスト
(雪崩の危険性の判別法)を試した。



佐野さんが新雪を引っぱり見事に滑った。新雪表層雪崩の危険性は十分あった。



旧雪と新雪がなじみにくく滑りやすい